

令和3年度 卒業生（医学部）就職先へのアンケート調査結果について

1. 背景

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成30年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって3つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、令和2年度卒業生が臨床研修医・臨床研修歯科医・薬剤師・看護師等として従事している医療機関等を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

2. 概要

調査対象 令和2年度卒業生が臨床研修医として従事している医療機関等
(調査対象数：77)

調査期間 令和3年8月16日(月)～9月17日(金)

実施方法 インターネット(Google Form)を利用したWebアンケート

質問内容 ①学部ごとの学位授与方針(DP)に対する本学卒業生の実態について
②本学の教育に求める内容について

3. 結果

回収率 45.5% (35/77)

協力機関 仙台赤十字病院、秋田厚生医療センター、岩手県立久慈病院、諏訪赤十字病院、埼玉石心会病院、山形県立中央病院、筑波記念病院、総合南東北病院、東北労災病院、岩手県立磐井病院、市立伊丹病院、竹田総合病院、市立横手病院、国家公務員共済連合会名城病院、上尾中央総合病院、埼玉県済生会川口総合病院、岩手県立大船渡病院、福島県立医科大学附属病院、公立陶生病院、広島市民病院、相模原協同病院、砂川市立病院、東海大学医学部付属病院、仙台市立病院、能代厚生医療センター、青森労災病院、盛岡赤十字病院、山形大学医学部付属病院、新潟県立十日町病院(匿名希望機関以外)

詳細は別紙の通り。

4. 総括

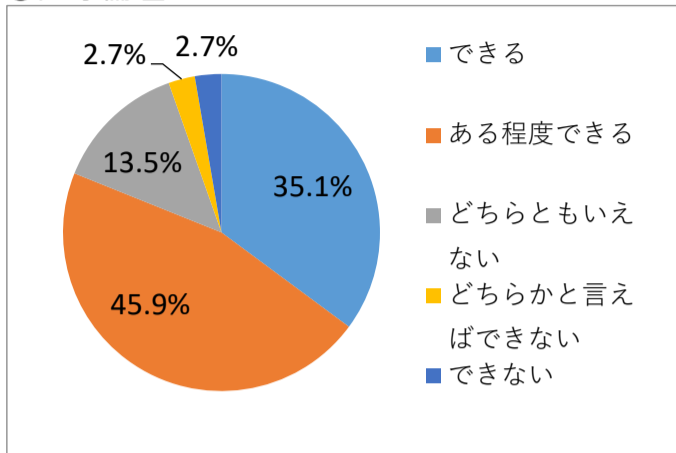
・ディプロマ・ポリシーの達成率は高く、ほぼ全ての項目で肯定的な評価が75%以上を占めている。その中において「プロフェッショナリズム」「コミュニケーションとチーム医療」「地域医療」などに一部否定的な回答も見られる。

・本学の教育に求めるものとして、「コミュニケーション能力」「汎用的知識・技能」「論理的思考力」「協調性」「主体性」への要望が多い。

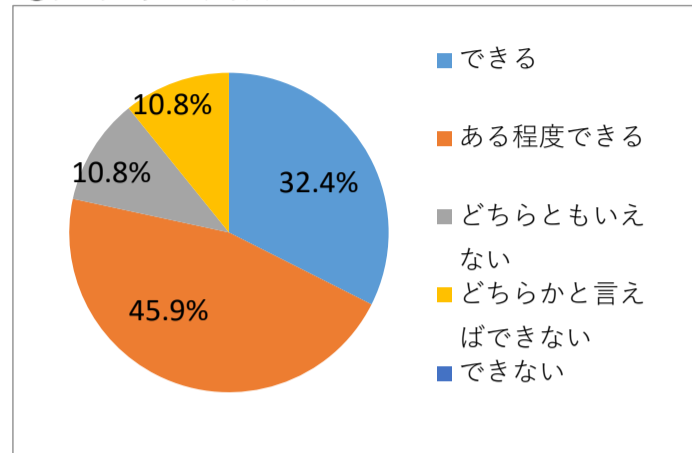
医学部

Q 1. 岩手医科大学医学部では、以下の8つの資質を身につけた者に学位を授与する方針を掲げております。貴医療機関で研修した本学卒業生がそれぞれの資質をどの程度身につけていたか評価をお知らせください。

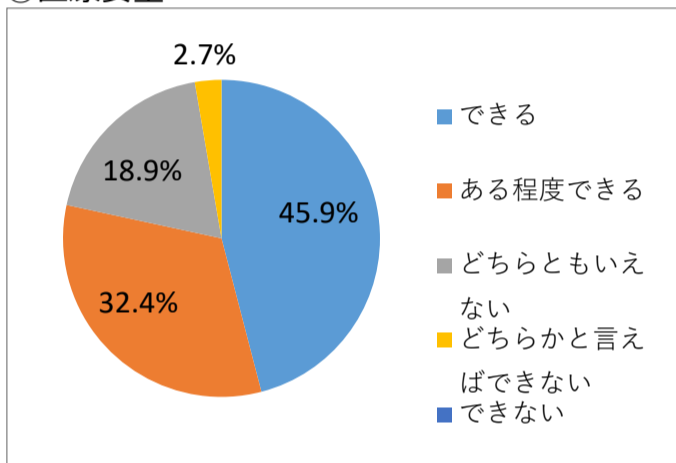
①医療倫理



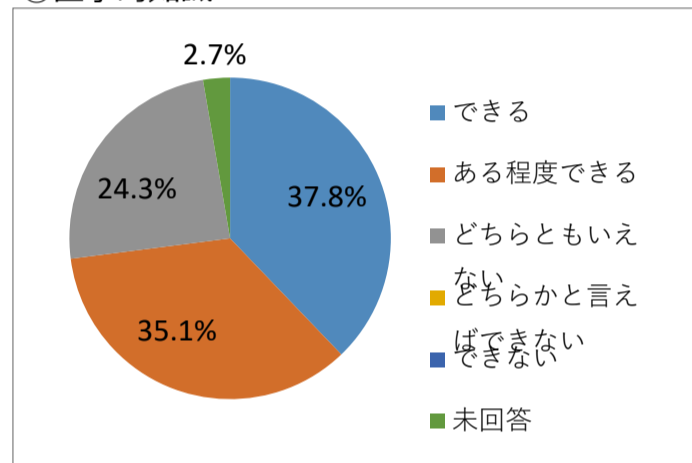
②プロフェッショナリズム



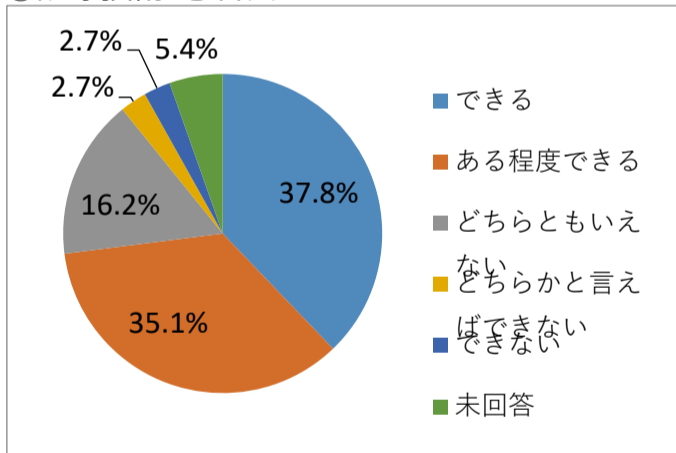
③医療安全



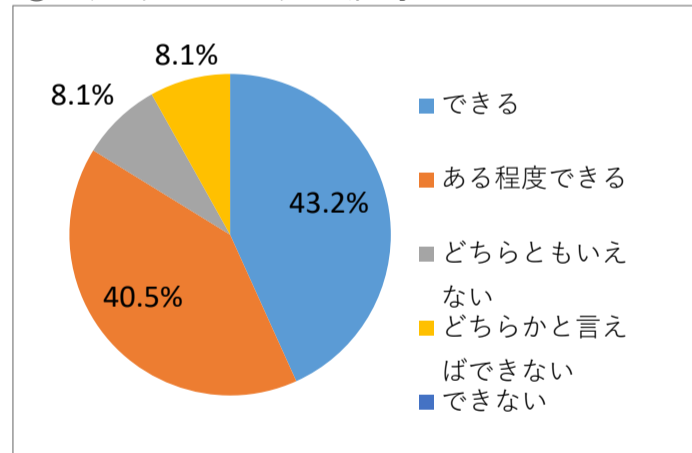
④医学的知識



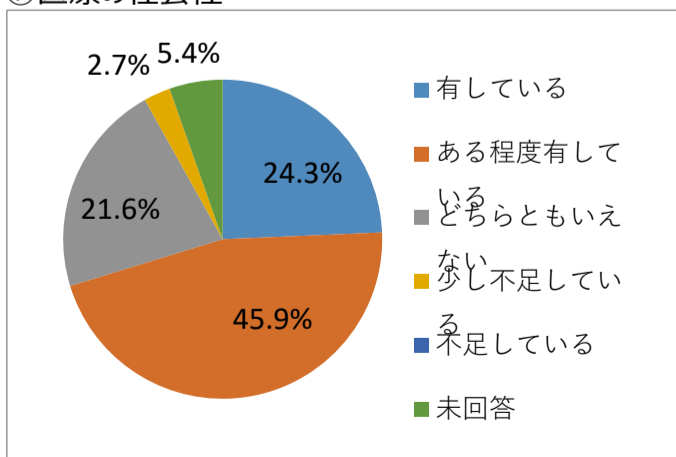
⑤診療技術・患者ケア



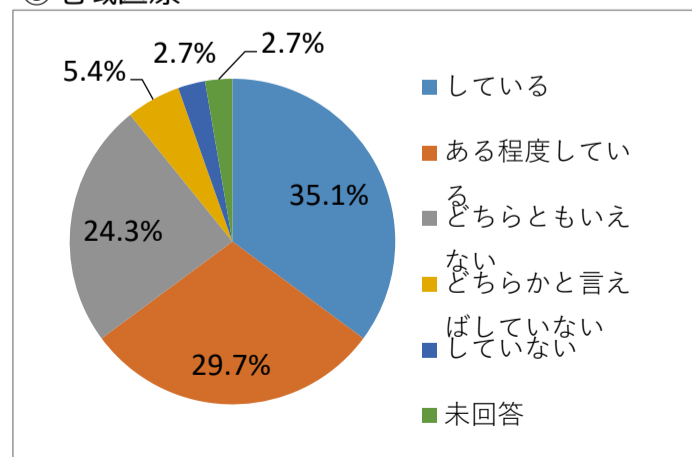
⑥コミュニケーションとチーム医療



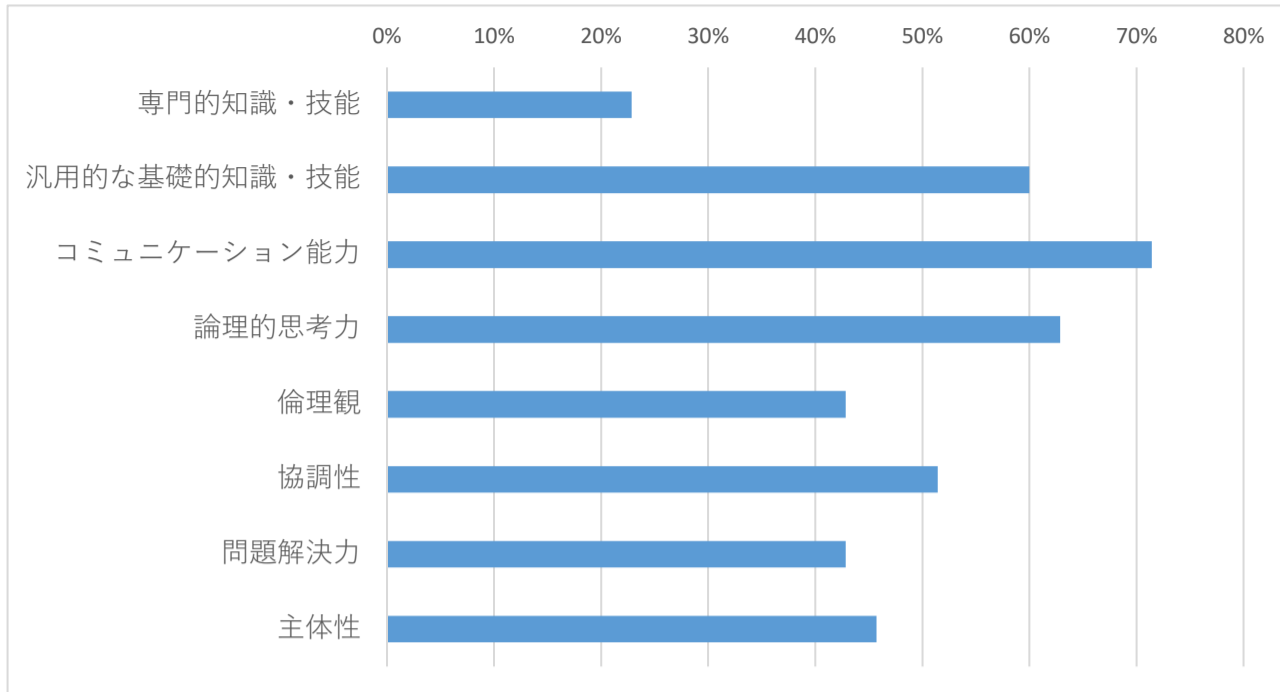
⑦医療の社会性



⑧地域医療

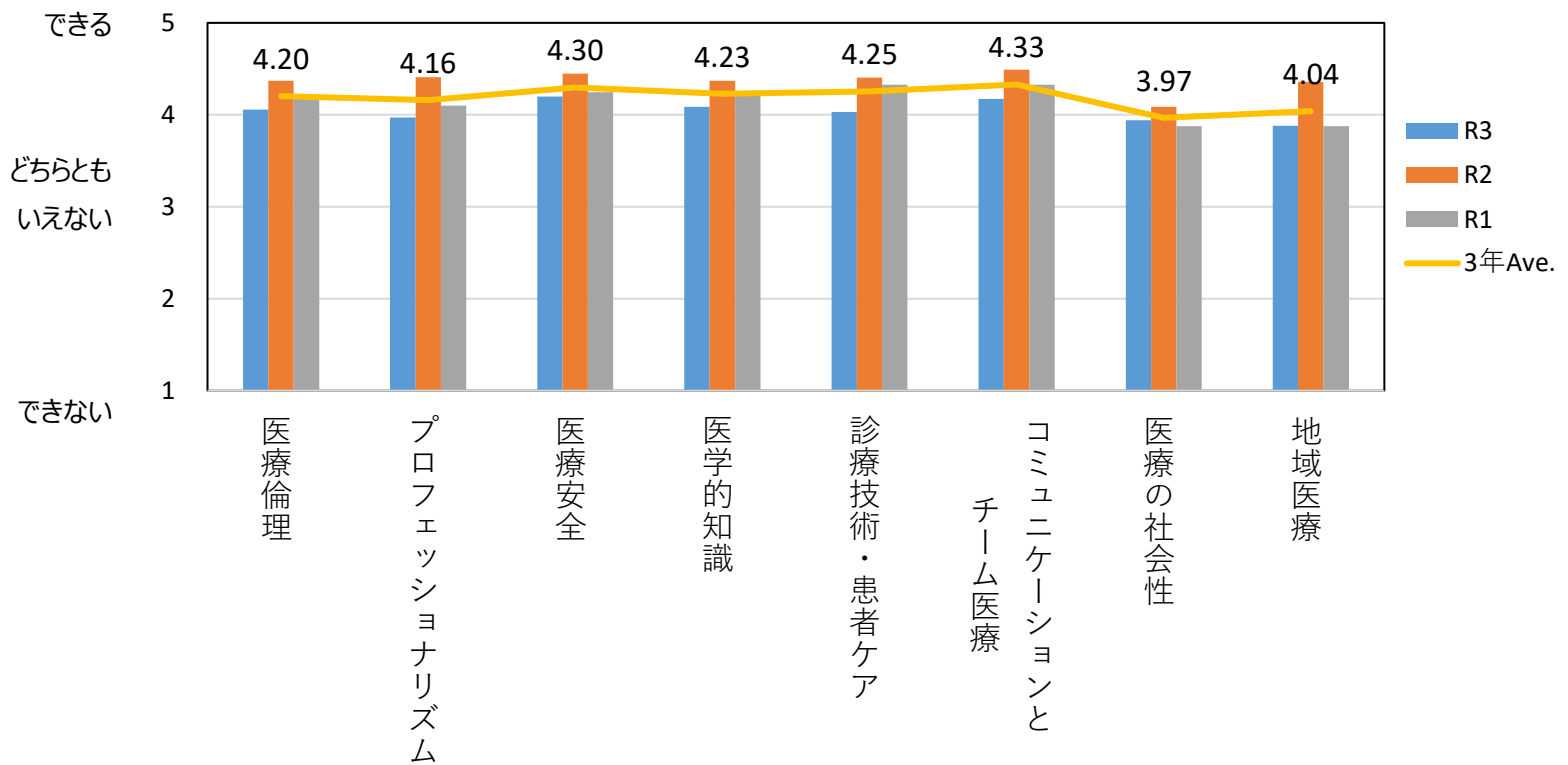


Q2. 本学の教育に求めるものについてお伺いします。



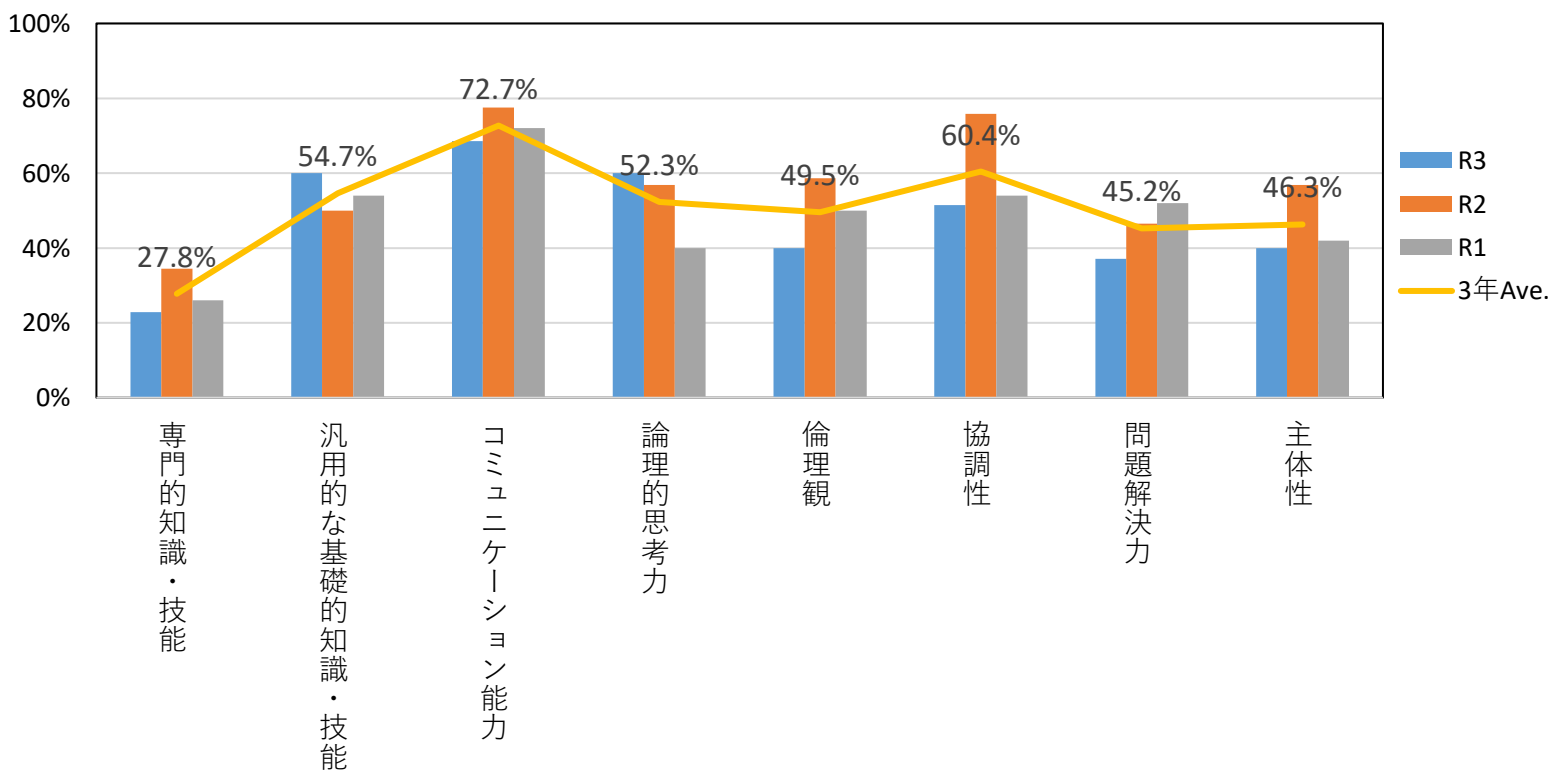
過去3カ年の経年比較 (医学部)

ディプロマ・ポリシー達成度に対する評価



- 全体的に達成度に対する評価は高い。(できる/ある程度できるという評価が多い)
- 「医療の社会性」「地域医療」のスコアは比較的低い。

本学の教育に求める内容



- 「コミュニケーション能力」に対する要望が最も高く、次いで「協調性」「汎用的な基礎的知識」などが続く。
- 専門的知識・技能に対する要望は少なく、卒業時点でのレベルは比較的満足されていると考えられる。